

平成30年度実務実習 先行導入 紙面評価について

一般社団法人薬学教育協議会
病院・薬局実務実習関東地区調整機構
運営委員
小佐野 博史



なぜSBOsごとに評価しないのか

バラバラのことを評価される→
求められているバラバラのこと
しかやろうとしない

評価履			0 未実施	1 不十分	2 ある程度でき	3 十分できる
P316	P316-1 (SB057)	適切な服薬指導を行うために、患者から集める情報と伝える情報を予め把握できる。(知識・技能)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P317-1 (SB058)	薬歴管理の意義と重要性を説明できる。(知識)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
P317	P317-2 (SB059)	薬歴簿の項目を適切に記入できる。(知識・技能)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P317-3 (SB060)	薬歴簿の項目などについて説明できる。(知識)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
P318		服薬指導において、配慮すべき事項を把握できる。(知識)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
P319		経口薬、注射薬、吸入剤など、薬物の特性を把握できる。(知識)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
P320		調剤薬品を調剤し、その性状を把握できる。(知識)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		調剤薬品を調剤し、その性状を把握できるように適切に説明できる。(技能)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
P321		調剤薬品を用いた服薬指導ができる。(技能)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		調剤薬品を用いた服薬指導ができる。(技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		調剤薬品のコンプライアンス、服薬上の問題点などを把握できる。(技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		調剤薬品の性状を把握し、適切に回答できる。(技能・態度)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
P322	P322-4	調剤薬品の使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集し、必要に応じて対処法を提案する。(技能・態度)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P322-5 (SB072)	調剤薬品の性状を把握し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

これら、全部ができて
も、服薬指導という手段を用いて実際に行
いたいこと=患者の
安全確保とQOL向上
に貢献できる能力が
身についているかは、
わからない

・評価の観点・基準が不明確
・学生に改善すべき点が伝わらない

これまで

SBOs 薬局実習116項目、病院実習108項目を評価

→平均するなどして、各大学が各大学で判断し、何割かを評価に組み込んでいる

これまでのSBOsの評価

		4	3	2	1
		すばらしい	大丈夫	もう少し	がんばれ
		薬剤師と同レベル	学習者としては合格のレベルに達している	合格するには、いくつかの補足点がある	基本すら身に付いていない

例：服薬指導関連 16項目

評価履歴			0	1	2	3
			未実施	不十分	ある程度できる	十分できる
P316	P316-1 (SBO57)	適切な服薬指導を行うために、患者から集める情報と伝える情報を予め把握できる。(知識・技能)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	P317-1 (SBO58)	薬歴管理の意義と重要性を説明できる。(知識)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
P317	P317-2 (SBO59)	薬歴簿の記載事項を列挙し、記入できる。(知識・技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P317-3 (SBO60)	薬歴簿の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。(知識)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
P318	P318-1 (SBO61)	妊婦、小児、高齢者などへの服薬指導において、配慮すべき事項を列挙できる。(知識)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
P319	P319-1 (SBO62)	患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる。(技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
P320	P320-1 (SBO63)	自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる。(知識・技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
P321	P321-1 (SBO64)	指示通りに医薬品を使用するように適切な指導ができる。(技能)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P321-2 (SBO65)	薬歴簿を活用した服薬指導ができる。(技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P321-3 (SBO66)	患者向けの説明文書を使用した服薬指導ができる。(技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P321-4 (SBO67)	お薬手帳、健康手帳を使用した服薬指導ができる。(技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
P322	P322-1 (SBO68)	患者に共感的態度で接する。(態度)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P322-2 (SBO69)	患者との会話を通じて病態、服薬状況(コンプライアンス)、服薬上の問題点などを把握できる。(技能)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P322-3 (SBO70)	患者が必要とする情報を的確に把握し、適切に回答できる。(技能・態度)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P322-4 (SBO71)	患者との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集し、必要に応じて対処法を提案する。(技能・態度)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	P322-5 (SBO72)	入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

概略評価では・・・





概略評価10項目 + 実務実習記録による評価6項目

OBEでの評価の目安

観点	アウトカム	4	3	2	1
		薬剤師のロールモデルの標準的パフォーマンス	11週目頃までに示して欲しい標準的パフォーマンス	8週目程度までに示して欲しい標準的パフォーマンス	4週目程度までに示して欲しい標準的パフォーマンス

- ・**レベル1**: 1か月程度で示せるようになってほしい標準的なパフォーマンスレベル。
- ・**レベル4**: 学生が目指すべき**ロールモデルのレベル**とし、4までの到達を求めてはいない。

例: 服薬指導関連 1項目

(2) 処方せんに基づく調剤

④ 患者・来局者対応、服薬指導、患者教育

アウトカム

患者からの情報収集、情報提供及び患者教育を実践する。

4	3	2	1
患者の薬物療法のアウトカムを達成するために必要な情報を的確に判断し、患者から情報収集する。 患者のニーズを的確に判断し、それを盛り込んだ情報提供及び教育を行う。	患者の病態や状況、高齢者、妊婦・授乳婦、小児、障害を持った方などに適切に配慮し、情報を収集する。 患者の理解度を確認しながら情報提供を行う。	医薬品を安全かつ有効に使用するための情報を種々のツールを用いて患者に提供する。指導、教育内容を適切に記録する。	患者から薬物治療に係る基本的な情報(症状、既往歴、アレルギー歴、薬歴、副作用歴、生活状況等)を収集する。

実習生評価

現在の実務
実習の評価

毎日どのSBOを実施するのか計画し、
そのSBOを実際にどの程度学習したか評価し、
すべてのSBOsを修得できたか確認する

評価の観点の見直し

実習生の総合的な能力を評価する

**OBE:大学・病院・薬局
で連携した評価**

「概略評価表」を参考に、
定期的(2~4週間)に実習を振り返り、実習生が
どの段階まで成長したかを評価

＜概略評価を行なう領域(例示)＞

- (1) 薬学臨床の基礎(臨床における心構え)
- (2) 処方せんに基づく調剤
- (3) 薬物療法の実践

2. 概略評価表によるパフォーマンス評価

(評価表は大学にお問い合わせください)

薬局用評価表

病院用評価表

平成30年度 薬局実務実習 評価表 (成長度) 帝京大学薬学部					
実務実習連絡会議ガイドライン 平成30年2月28日版準拠					
実習薬局	学籍番号	学生氏名			
薬局指導責任者	大学担当者				
出席状況					
総実習日数:	日、	出席日数:	日(遅刻・早退回数:	回)、	
欠席日数:	日				
概略評価					
(1) 薬学臨床の基礎					
②臨床における心構え					
観点	アウトカム	4	3	2	1
生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	生命の尊厳と薬剤師の社会的使命を自覚し、倫理的行動をする。医療関係法規を遵守して、薬剤師としての責任を自覚する。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全性を最優先して行動する。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行う。	患者・生活者の視点に立つ。日常の学びを振り返り記録し、省察する。	生命の尊厳を意識し、他者の人権を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関して留意している。
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
(2) 処方せんに基づく調剤					
②処方せんと疑義照会					
観点	アウトカム	4	3	2	1
処方監査と疑義照会	処方監査と疑義照会を実施する。処方監査: 患者情報と医薬品情報に基づき、処方方の妥当性、適切性を判断する。疑義照会: 必要に応じて、疑義照会の必要性を判断し、適切なコミュニケーションのもと実施し、記録し、次に活かす。最終的には、医師の処方行動に変更をもたらす。	患者の病態およびナラティブ、治療の科学的根拠に基づいて、処方方の妥当性を判断する。	医薬品情報および患者情報をもとに、処方内容を監査する。医師や医療スタッフと患者に関する情報を共有(疑義照会を含む)する。	実習施設内で扱うすべての処方箋と調剤薬に関して医薬品情報を基に適切に監査ができ、必要に応じて疑義照会を実施する。	単純な処方箋(※参照)および調剤薬の監査を行い、リスク回避のための対応方法を実施する。 ※①処方内容を構成する医薬品の数が2~3種類と少ない処方、②1つの疾患に対する処方
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

平成30年度 病院実務実習 評価表 (成長度) 帝京大学薬学部					
実務実習連絡会議ガイドライン 平成30年2月28日版準拠					
実習病院	学籍番号	学生氏名			
病院指導責任者	大学担当者				
出席状況					
総実習日数:	日、	出席日数:	日(遅刻・早退回数:	回)、	
欠席日数:	日				
概略評価					
(1) 薬学臨床の基礎					
②臨床における心構え					
観点	アウトカム	4	3	2	1
生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	生命の尊厳と薬剤師の社会的使命を自覚し、倫理的行動をする。医療関係法規を遵守して、薬剤師としての責任を自覚する。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全性を最優先して行動する。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行う。	患者・生活者の視点に立つ。日常の学びを振り返り記録し、省察する。	生命の尊厳を意識し、他者の人権を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関して留意している。
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
(2) 処方せんに基づく調剤					
②処方せんと疑義照会					
観点	アウトカム	4	3	2	1
処方監査と疑義照会	処方監査と疑義照会を実施する。処方監査: 患者情報と医薬品情報に基づき、処方方の妥当性、適切性を判断する。疑義照会: 必要に応じて、疑義照会の必要性を判断し、適切なコミュニケーションのもと実施し、記録し、次に活かす。最終的には、医師の処方行動に変更をもたらす。	明らかな疑義が無くても患者情報などを判断し、より良い処方提案をする。	患者情報や医薬品の情報を考慮して疑義照会を適切に行い、代替案を提示する。	医薬品の基本的な情報に基づき、処方に対する疑義の有無を判断する。 ※患者情報は、④患者対応及び③薬物療法の実践①患者情報の把握に基づく ※医薬品情報とは、③薬物療法の実践②医薬品情報の収集と活用に基づく	処方箋の形式上の不備が無いが確認し、処方箋に従って調剤する。
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

概略評価の評価表(ルーフブロック)について

概略評価					
(1)薬学臨床の基礎					
②臨床における心構え					
観点	アウトカム	4	3	2	1
生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	生命の尊厳と薬剤師の社会的使命を自覚し、倫理的行動をする。医療関係法規を遵守して、薬剤師としての責任を自覚する。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全性を最優先して行動する。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行う。	患者・生活者の視点に立つ。日常の学びを振り返り記録し、省察する。	生命の尊厳を意識し、他者の人権を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関して留意している。
○月 1日					○
○月21日				○	
月 日					
月 日					

- 1) 11週間の実習期間中に、頃合いを見計らって評価してください。
- 2) 3-4週間に一回程度を目安としてください。
- 3) パフォーマンスをみて、迷う場合にはチェックリストとして別表に改訂コアカリキュラムのSBOsを添付しましたので、参考にしてください。

実務実習記録による評価について

実務実習記録による評価				
(1)薬学臨床の基礎				
③臨床実習の基礎				
(2)処方せんに基づく調剤				
①法令・規則等の理解と遵守				
(4)チーム医療への参画				
①医療機関におけるチーム医療				
②地域におけるチーム医療				
(5)地域の保健・医療・福祉への参画				
①在宅(訪問)医療・介護への参画				
②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画				
③プライマリケア、セルフメディケーションの実践				
④災害時医療と薬剤師				
		評価確認日	月 日	
			月 日	
			月 日	
			月 日	

ルーズブリックの示されていない上記の評価については、日誌による評価です。実施した日、あるいはルーズブリックと同じ程度の間隔で日誌をご確認いただいた日をご記入頂き、概略評価に反映させてください。

(日誌を確認した日と、概略評価の日が同じである必要はありません)

紙面評価の今後

概略評価について

平成30年度は、Webはシステム試用のみです。評価の先行導入では、紙面評価で実施せざるを得ませんので、ご協力をお願いいたします。

⇒(平成30年度のみ、紙媒体で行います。すでに関東地区調整機構から機構委員にお送りしてあります。)

⇒平成31年度からは、各大学でWEBで運用する予定ですので、煩雑さは解消されると思います。

関東地区では、予定も含めて、ほとんどの大学で全員実施する準備ができているという報告を受けています。

概略評価(ルーフブロック)の利点

1. 評価が見える

⇒被評価者と評価者の双方に評価の観点と評価基準を提示し、評価を可視化。

2. 自分を評価する

⇒学生自身の行動指針が明確になり、学生自ら学習活動を評価できる。自己評価と自己改善が習慣化する。

途中で同じルーフブロックで評価すれば、**結果**だけではなく、**プロセスも評価**できる。

体験するということは1人でするということではありません

